

いまべつ

504



—— 今別小学校児童 ——

実りの秋を願い

田植え作業



「個性豊かな充実した生活を送れるまち」をめざして 第4次今別町総合計画

総合計画の目的

今別町の将来のあるべき姿とこれを達成するための基本方向を定めることにより、これからの町づくりを総合的かつ計画的に進めることを目的とし、第四次今別町総合計画が策定されましたので、概要についてお知らせします。

基本構想

近年、急激に変化する社会情勢の中で、前計画達成のため様々な施策を行ってきましたが、財源不足などにより繰越、または中止した計画などもあり、今後、新たな問題や変化に対応するため、前計画を評価し、継続性や必要性など検討し平成18年度から平成27年度まで、10年間とします。

施策の体系 ～将来の姿～

この計画では、「個性豊かな充実した生活を送れるまち」を将来像として、自然に恵まれた快適で生活環境の整ったまち、健やかで生きがいのあるまち、基幹産業の確立と創造性に富むまち、生涯学習と連帯感あふれるまち、効率的な行財政運営のまち、この五つを柱に構成されています。

町の重要な課題

～生活環境の整ったまちづくり～

豊かな自然の中で、誰もが快適な生活を送るためには、自然環境の保全や安全なまちづくり、交通ネットワークの整備などが求められています。

特に、北海道新幹線新青森駅～新函館駅の完成目標は平成27年度末に決定し、仮称「奥津軽駅」も開業することになります。

津軽半島唯一の新幹線駅としての役割は大きく、新駅を津軽広域観光の拠点としてアクセス道路の整備など積極的な振興対策を講ずる必要があります。

～安心して生活できるまちづくり～

「個性豊かな充実した生活を送れるまち」を実現するためには町民と行政、関係機関などが一体となって進めることが重要です。

安心して健やかに子育てできる環境と、高齢者が安心して自立した生活を送ることができる環境整備に努める必要があります。

～今別産づくりを目指して～

人口の急激な減少や少子高齢化の進展は、地域経済の低迷や基幹産業である農林漁業の不振、働く場の不足などが大きな要因となっています。

町の基幹産業である農林漁業の振興を図ることが重要であり、後継者の育成対策や遊休農地の有効活用、地場産品の安心して消費できる農林水産物の生産など、基幹産業の振興対策を積極的に進める必要があります。

～子供達の夢を育む教育～

まちづくりを進める上で、人づくりは重要なことと考えます。

特に、未来を担う子どもたちが「自ら考え行動できる力」、「情報化・国際化に柔軟に対応できる力」を育むため、学校・家庭・地域社会などが連携しあう社会の構築を図るとともに教育環境施設の整備・充実に努める必要があります。

～効率的で健全な行財政運営～

年々多様化し、質の高いサービスが求められる中で、地方分権や多様化する行財政課題など私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

町単独での解決が困難な課題も増えてくることが予想される中で、国では、新たに「市町村合併支援プラン」を発表しました。

これを踏まえ、町民にとって最良の合併も視野に入れながら、これまでの施策を見直し限られた財源で質の高いサービスを提供するため、より一層の創意と工夫により効率的な行財政運営に努める必要があります。



基本計画

基本計画とは？『H18～H22までの5年間（前期計画）』

基本構想に基づき、施策の大綱を具体的に推進するための基本的施策を総合的、体系的に示し、行政施策展開の指針とするものです。

実施計画

実施計画とは？『H18～H22までの5年間（前期計画）』

基本計画で定めた基本的な施策を計画的かつ効率的に実施するための短期の計画で、予算編成及び事業実施の指針とするものです。

住民の生命と財産を守るため

威風堂々と今別町消防団定期訓練



消防団による街頭パレード



各分団、放水始め！



本部自動車ポンプ操法

威風堂々、決意新たに

6月11日、今別町消防団（横岡 巨団長）定期観閲式が今別川海峽あすなる公園（河川公園）で開催されました。

当日は、消防団員婦人防火クラブ約200名、ポンプ積載車による街頭パレードで幕が開け、会場には青森県消防協会長をはじめ東郡各町村長など、約100人の来賓が出席しました。

式典では、人員・服装・機械器具点検などを検閲したあと、本部分団自動車ポンプ操法、第3分団・



フル装備、何分団？

第6分団による小型ポンプ操法を披露、続いて全分団一斉による放水訓練では、注水が次々と繰り出され、関係者や見学者の注目を集めました。

分列行進、功労者に対する表彰後、観閲者小鹿正義町長は「横岡団長統率のもとに、各分団長、ポンプ車と続く堂々たる行進、そして消防人としての機敏さを要求される操法技術を見て非常に心強く感じた」と講評。

横岡団長から「近年は異常気象による、風水害や豪雪被害が発生している。

消防人は、住民の生命財産、安全を守るため、今後も一致団結し任務に当たってほしい。さらに、団員の家族の協力に感謝したい」と述べ、団員の士気を高めていました。

消防功労者表彰

★消防庁長官表彰

【永年勤続功労章】

相内亮一

★青森県知事表彰

【永年勤続功労章】

中島 了(他6名)

★日本消防協会会長表彰

【勤続章】

相内正人

★青森県消防協会会長表彰

【功労章】

相内正人

【勤功章】

小鹿勝男(他2名)

【永年勤続功労章】

小倉 博(他22名)

◆25年勤続章

明田 一夫(他12名)

◆20年勤続章

小倉 証人(他4名)

◆15年勤続章

入江 正真(他6名)

◆10年勤続章

相内 興屋(他9名)

★青森県消防協会東青支部長表彰

【東青支部長章】

田中 要蔵(他9名)

★今別町長表彰

【現場功労章】

木村 一生(他4名)

【今別町長章】

岩崎 誠幸(他4名)

★今別町消防団長表彰

【今別町消防団長章】

岩崎 誠幸(他4名)

★退職消防団員感謝状贈呈

(21名)

教育委員会

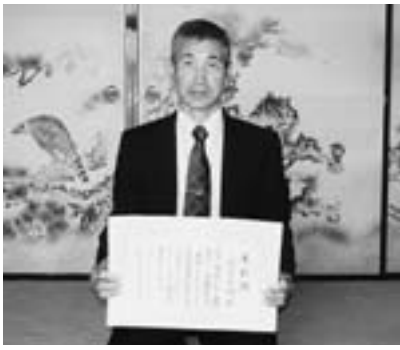
功労者表彰

砂ヶ森

藤巻豊勝氏 受賞

この度、前教育委員藤巻豊勝氏が、全国市町村教育委員会連合会退会功労及び青森県市町村教育委員会連絡協議会退会功労章を受章されました。

藤巻氏は、昭和60年5月から平成17年10月までの（9年7ヶ月）長きにわたり、教育委員として教育行政の発展に精励し、教育分野に多大な貢献をした功績が認められたものです。



3月31日、青森広域消防今別分署が新型救急自動車を導入し、4月15日から運用を開始しました。

新型救急自動車は、人工呼吸器、半自動式除細動器、医療機関との連携に必要な自動車電話を搭載しており、心肺機能停止状態の傷病者に対し、半自動式除細動器による除細動など出来る車両で、車内は救急隊員が立ったまま適切な応急処置を行なえるスペースと傷病者に苦痛を与えない防振架台・サスペンション等を装備した高い品質・性能の車両です。



新型救急車誕生

環境美化に一役

各団体が

ボランティア

このほど、連合婦人会など各団体が、県土整備事務所から配布された「サルビア・ベコニア」1600本を国道や県道のゆとりの駐車帯に



植え付けしました。

毎年、この時期になると、ボランティアで植え付けしており、参加した会員のみなさんは「町の環境美化に貢献でき、これからもお手伝いしたいです」と笑顔で話していました。

きれいなまちづくり

5月17日、連合婦人会・今別町ボランティア推進協議会・日赤今別奉仕団、3団体の方々約30人による、役場前の花壇を整備しました。

皆さんは作業をしながら「きれいな花壇が一番」と話をしながら、晴天の下汗を流していました。



村元地区で防犯対策

6月7日、村元地区で約30人が、河川公園（村元側）の草刈作業を行いました。

村元地区の環境整備と、防犯対策の一環として「子どもが安心して遊べる場所」と各自で草刈機やカマを持ち寄り、公園整備に汗を流していました。

作業終了後、情報交換会を行い地域の活性化を図りました。



アユなどの稚魚放流

今別町内水面漁協（相内義悦組合長・組合員47名）では、6月12日大川平地区今別川本流にアユ稚魚（体長約10cm）を1万2千尾放流しました。アユの解禁は7月1日で、これからの成長を祈り放流しました。

また、6月14日にはイワナの稚魚（体長約5cm）を1万尾、下旬にはヤマメ5千尾放流しました。マスの資源確保のため、毎年放流しています。

歯は一生の宝もの

6月8日、今別保育園で「虫歯予防教室」が開催されました。園児と保護者が参加し、歯科衛生士によるお話と歯の磨き方を練習しました。

染め出し実習では、ふだん磨き残しのある歯を染め出して、どの部分に磨き残しが多いかをチェックし、もう少しがんばろうという園児もチラホラありました。家庭での心がけがみんなの大事な歯を守ります。



八重ざくらを 新一年生に贈る

今別町教育委員会と同町緑化推進委員会は、このほど新入学の記念として、今別小学校の1年生16人の家庭に苗木、標木、支柱をセットにして贈りました。

各家庭では、早速子どもたちがお父さんやお母さんに手伝ってもらい、苗木を庭に植樹し、「早く大きくなって、きれいな花が咲けばいいな」と願っていました。

家族の方も「木の成長とともに子どももすくすくと育ってほしい」と喜んでくれました。

「太田永遠さんと家族」



苗木代善意ご協力ありがとうございます。

ラブ・いまべつ会（今別町出身者で構成している会）会員の方々よりたくさんの苗木代の善意をいただきたいへんありがとうございました。

苗木代を寄せていただいた皆さんをご紹介します。掲載分は6月2日まで集計したもので以降の分は会員向けお知らせにて周知させて頂くことをご了承下さい。※敬称は省略させていただきます。

苗木代寄付金総額 245,000円

- ◎北海道在住 鈴木 勇治・松本あけ美
- ◎青森県在住 相内 潔・相内 文夫・蛭名 梯子・小倉 義勝・川村 善悦・木浪 徹・坂本 一三・塩谷 幸子・嶋中 勲一
嶋中 晋吾・鈴木忠治郎・中川まつみ・間山 治・宮本 清彦・最上 常造・横岡 一・相内 一夫・横岡美津子
澤田 嘉男
- ◎宮城県在住 伊藤 豊・嶋中 志幸
- ◎千葉県在住 宗形るみ子・野土 文子・若佐 隆悦
- ◎埼玉県在住 相内 定道・大谷 彰宏・木村 誠・木村 満・田中田鶴子・中村 早苗・藤巻 旭・南 吉雄・田中富士子
木村 利次・小川 智子・平野 俊美
- ◎東京都在住 小倉 頼子・小島 睦子・佐藤 隆・田中 一男・山田 力雄・山本 良子・吉田 和子・阿部 良蔵・松島るみ子
三上 茂・福士 保治・藤田 和夫・青木 孝子・高木 京一
- ◎神奈川在住 磯崎 則子・勝野 文男・小鹿 治光・佐々木 清・佐藤陸奥雄・嶋中 徹・瀬川 巖・西尾あや子・本郷 守男
増沢 恵美・松本 弘・横岡とし子・本郷 邦昭・前田 享子・杣谷大太郎・田中留五郎
- ◎愛知県在住 尾崎つる子・高橋 利成・西野 ユリ・吉田 啓子・土橋 智子・岩山 孝子
- ◎群馬県在住 塚田 君枝
- ◎山梨県在住 小倉 宏之
- ◎静岡県在住 金田よつえ
- ◎石川県在住 大杉 幼子
- ◎京都府在住 坂本 慶一
- ◎広島県在住 新山 忠美



豊かな森、豊かな海をつくるため、今別町では各種団体と共催でヒバやブナを植樹しています。今年度も皆様の善意により苗木1,000本の一部として活用させていただきます。

特集

東郡中体連夏季大会
全種目県大会出場



秋、春、夏と三期優勝、野球部



世界に向かって?...



2年ぶりに優勝したソフトテニス部



抜くか?抜かれるか??



春夏連覇、男子バレー部

6月17・18日両日、東郡中体連夏季大会が外ヶ浜町を主会場に開催されました。
熱気に包まれた各会場では、白熱した試合が繰り広げられ、今別中学校選手団は、5競技に参加し、4競技、個人種目で見事優勝を果たし、大健闘しました。
昨年の同大会では、個人種目では優勝したものの、団体競技では惜しくも優勝を逃しました。
あれから一年間、厳しい練習に耐え抜き、技術だけでなく、精神力・体力と共に鍛え上げた成果が今大会で開花しました。
県大会は7月23日から25日に青森市で開催されます。



春夏連覇、『女王』女子バレー部



アタックNo.1、あれ女子監督が。



ここから反撃。エースをねらえ!



円陣、だれだ素通りは



オリャー。



スパイク決まった?それとも...



俺のカーブ打ってみろ



ヒーローはだれ?
みんな同じにしか見えない

試合結果

団体戦優勝回数については、今別・婁月中学校統合後の結果です。



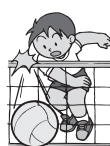
野球

一回戦
今別中 13-1 東平内中
準決勝
今別中 1-0 蟹田中
決勝
今別中 1-0 蓬田中
※初優勝
(今別中として22年ぶり)

陸上



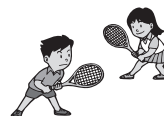
種目
女子砲丸投げ
優勝 山内麻未 (10m20) 3位 神瑞希 (8m80)
4位 木村舞 (8m66)
共通男子400m
3位 三浦豊 (60秒64)
3年女子100m
2位 工藤聡子 (14秒46)
共通男子200m
優勝 泉光 (25秒72)
3位 宮本啓樹 (30秒22)
共通女子800m
3位 上野星 (2分58秒81)



バレーボール

男子
決勝リーグ 今別中 2-0 小湊中
今別中 2-0 三厩中
※2年ぶり9回目
女子
準決勝 今別中 2-0 東平内中
決勝 今別中 2-0 蓬田中
※2年ぶり8回目

ソフトテニス



個人戦 最終順位
準優勝 佐渡 伊織・佐々木彩華
5位 川村 茉以・相内 鮎佳
5位 大澤 優穂・明田 里穂
団体戦決勝 今別中 2-1 小湊中
※2年ぶり4回目

第59回県高等学校総合体育大会

～県立今別高校、最後の栄光～

第59回青森県高校総体が6月2日から5日、八戸市を主会場に開催されました。

今大会は、県立今別高校として出場する最後の大会となり、選手たちは、日頃厳しい練習に耐え、磨き上げた心と技を存分に発揮しながら、試合に臨んでいました。

フェンシング競技は、むつ市克雪ドームで行われ、個人戦では春季大会に続き澤田稔章選手がフルール・サーブル2種目優勝、本郷康幸選手がエペ優勝で個人全種目を制覇し、女子では、沼田彩華選手がサーブル個人優勝、団体でも、男子が12年連続優勝を成し遂げました。

また、女子フルールでは青森北高校嶋中智慧選手(後町)が準優勝と健闘し、8月に京都府大山崎町で開催される全国大会の出場権を得ました。



今別高校男子完全制覇

全国大会個人種目出場選手



嶋中智慧選手
北高1年生(後町)
フルール2位



神正信選手
今高2年生(奥平部)
フルール2位



沼田彩華選手
今高2年生(外ヶ浜)
サーブル1位



本郷康幸選手
今高3年生(二股)
エペ1位



澤田稔章選手
今高3年生(山崎)
フルール・サーブル1位



こんにちは。保健師です。

～すすめよう 健康いまべつ21～

今月のテーマは「家の中のダニ・カビ」です。

ふだんは目に見えないので、気にすることはありませんが、どこの家にもダニ・カビは生息しています。ダニやカビを増えたままにしておくと、人によっては皮膚トラブル、喘息、肺炎、アレルギー性疾患など重度の病気にもなりかねません。これからの季節は、湿気がありほどよい気温と、ダニやカビにとって、住みやすい季節です。下のダニの生態を知り、ダニの住みにくい環境を作るよう、家の中をチェックしてみましょう。



ホコリ1gの中に多い時で1万匹以上のダニが住んでいます。

ダニはどこに隠れているの？	ダニは何を食べるの？	ダニは人を刺す？
布団、たたみ、カーペット布製ソファ、ぬいぐるみなど。特に畳の上にカーペットを敷いているところはダニには好環境。一畳あたり30秒掃除機をかけると、掃除機に吸い込まれたダニはほとんど死にます。	人間のアカ、フケを食べたりカビを食べる。カビが発生する環境はダニには最高の環境ともいえます。アカ、フケを食べる人の皮膚に住むヒョウヒダニはアトピー性皮膚炎、喘息、アレルギー疾患の原因と言われます。	人を刺すダニは多くはありませんが、人を刺すツメダニはほこりに住むチリダニを餌にするので、まずはチリダニを増やさないよう掃除を徹底することが大切です。チリダニは温度20℃以上湿度60%以上で増えます。

◀7月の福祉係行事予定▶

事業名	日時	受付時間	会場
総合健診	7月 3日(月)	6:30~8:30	大川平文化会館
複合健診	7月 4日(火)	6:30~8:30	大泊文化会館
基本健診	7月18日(火)	8:30~9:30	褒月会館
基本健診 事後指導	7月26日(水)	午前	午前：開発センター／午後：中央公民館
	7月27日(木)	9:00~11:00	午前：山崎文化会館／午後：村元会館
	7月28日(金)	午後	午前：鍋田会館／午後：関口会館
	7月31日(月)	13:00~15:00	午前：浜名公民館／午後：西田集会所

健康料理コーナー

【食生活改善推進員推薦メニュー】

食物繊維豊富でしっとり甘さひかえめのチーズケーキを紹介します。

☆おからと豆乳のチーズケーキ☆

【材 料 18cm型1個分】

おから……20g、豆乳……180cc、クリームチーズ……200g、卵……4個、砂糖……80g、小麦粉……大さじ3、レモン汁……半個分

【作り方】

- ①豆乳、クリームチーズ、卵を常温にもどす。
- ②クリームチーズを泡だて器でクリーム状にし、卵を少しずつ加える。
- ③豆乳、砂糖、レモン汁、小麦粉を加えよく混ぜる。
- ④生地を型に流し込み、トントンと空気を抜き、オーブン170℃で45分位焼く。
- ⑤粗熱がとれたら、冷蔵庫でよく冷やして出来上がり。



山林と人のかかわり

— 今昔 — (四)

— 過伐と尽山 —

日本の文化は、木の文化、と言われ、昔から人々は限りなく木の恩恵の中で暮らしてきた。住居、燃料、製鉄、船舶作りなど数えたらきりが無いほどです。

七世紀末から平安京が衰退する十二世紀まで、奈良、京都の都の造営、寺社の建築などに奈良や滋賀など近畿地方の山林はほとんど使い尽くされました。

東大寺の大仏の造営には径一メートル長さ三十メートルの柱材八十本を含め、一万四千八百立方メートルのヒノキの良材が使われたということです。単純に比較すると、これは伐採下火に向う青森営林局の、平成四年度のヒバの伐採量と同じです。

大仏はその後戦乱の中で二度焼失。その再建にはもはや近くの山々に良材なく、莫大な費用をかけて山口県の新木が運ばれます。「生産能力ぎりぎり最大利用」といわれる、古代の森林経営の姿は「生産量を無視した増伐によって、山を尽きさせた」現代の国有林経営とダブっているように見えます。近世の山林開発も一層大がかりな収奪です。

天下を統一した秀吉は、秋田スギを始め国内のすべての藩主に大量の木材の寄進を求め、実行させ



澤田 瑞穂さん (今別八幡宮司)

ました。

大阪城や聚楽第の造営、東大寺の大仏より大きな大仏殿の建築・朝鮮出兵のための大型建造などに各地の奥山の良材が皆伐られます。(熊野、飛騨、美濃、駿河から土佐、九州まで)。徳川家康は、その秀吉の吉野や木曾谷の直轄領を始め、天竜川流域の森林などすべてを受継ぎました。秀吉に負け

じと行った、名古屋城や江戸の千代田城などの大建築、また江戸の都づくりは更に森林資源を消耗させたはずで、角倉了以を用いての水路づくりや、海運の開発は運材を容易にしたのです。大がかりな建築、建設ブームは、様々な技術、商業活動や工芸などの文化も発達させたでしょう。しかし自然の資源の収奪には限度があるべきです。後には幕府から謹慎を命じられた、儒学者の熊沢藩山(一六九一没)は「天下の山、十に八つは尽く」と嘆きました。また、「山川は国の本なり。近年山荒れ、川浅くなれり。是、国の大荒れなり」と述べ、昔からかくの如くなれば、乱世となっていくと警告しました。治水についても、「諸国

今の川、堤の普請は俗に飯の上の蠅を追うという如し」と、耳の痛いことを言っています。



高桑うめさん (大川平)



第4話

おばあちゃんのお話

故郷、今別

病院に行くのにバスを待つ人、流行の手押し車で友人の家に行く人、老人ばかり、いずこも同じ、高齢者と少子化の時代なのだから、この地端に大企業がある訳もなく、大した観光地もない。結局、若い人は仕事を求め、流れるように都会に出て行く、当然の如し。

子供たちの姿も声も聞こえて来ない。子供たちの高声が聞こえないってこんなに活気が無くなるのかと、淋しい気になるのは皆同じだと思う。まだまだ使用可能な校舎も不要となり、町として閉校を余儀なくされもつたいな

の一言です。津軽線から見える校舎、春には桜の下で花見が出来、四季の花々、各学級の花壇や野菜畑、職員玄関には

用務員のおばあさんの上手な活花が気持ちよく迎えてくれ、懐かしく思い出されま

す。障害者用にと改造してくれた厚意も、年々減る一方の生徒数には、歯止めがか

からなかつたんですね？若い壮年層が、このまま朽ちるのを見るに堪えきれずに立ち上がったのでしょ

う。荒馬の里資料館、長い廊下にはパネル写真。そして、荒馬とハネルが、いつでも誰でも入館を大歓迎してくれ、ネプタ気分になれます。

時には、遠方の大学から郷土芸能研究会生達や、保存会の家庭にホームステイし、会員の方々の指導で勉強して行く若者が増えていくそうなんです。

現在、閉校した学校の一部を小企業が使用したり、時には老人クラブ等も有効にしようとしておるようです。が、春先からは、釣り堀がブルを改造し、釣り堀が始まります。皆、若い人達のボランティアで作業しているらしく、大変のようですが、少しでも小学校を有効に利用し、地区に活気を取り戻し、老人たちにも元気をとの意気込みで荒馬保存会の方々が頑張っている

そうなんです。皆さんは、仕事を

を持つ片手間でボランティアなので大変だなと思いま

す。都会や遠方に住むようになった皆さん、そんな訳で町の人口は減るばかりですが、淋しい事はばかりでもありません。みなさんが育ててくれた海・山・川は健在で、皆さんの帰郷を待っております。ラブ今別会の皆さん楽しんで写真、所衆と会いたくて遠方から集まつた方々もあるうかと、広報で拝見して懐かしんでおります。

都会に生まれ故郷を持たない人に故郷を思う気持ちには田舎者に生まれて良かった。

「外地で苦しい時も日本に帰れば迎えてくれる肉親と故郷があるんだと、支えに生き抜いて来た」

町外に住んでいる皆さん、どこで長年生活しても生まれ育った故郷はいつも変わりなく、皆さんの帰郷をお待ちしております。

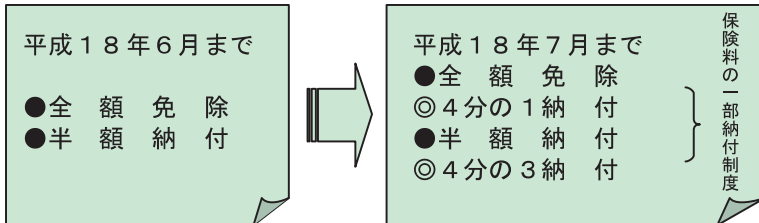
昔のままの自然を大切に守っておりますので、少しの休暇でも利用して時々故郷のきれいな空気に触れて来てください。

そして町内に住む皆さんも、巡回バスで文化会館前で下車、元大川平小学校まで散歩のつもりで一度おい

でになり、荒馬の里資料館を是非共一度見に来て下さい。

国民年金 保険料の免除制度が変りました

国民年金保険料（平成18年度：月額13,860円）のお支払いが経済的に困難な場合は、「保険料の全額免除又は一部納付制度」をご利用下さい。



ご注意ください!

一部納付制度は、一部納付額をお支払いされなかった場合、一部免除が無効となるため、将来の老齢基礎年金の額に反映されません。

また、万が一の時の障害基礎年金や遺族基礎年金を受給できない場合があります。

申請は、お住まいの市区町村の国民年金担当窓口まで。

問合せ 役場町民福祉課 町民担当
☎35-2001

☆平成18年度における1ヶ月の一部納付額は次のとおりです。

	一部納付額	免除される額
4分の1納付	3,470円	10,390円
半額納付	6,930円	6,930円
4分の3納付	10,400円	3,460円

地上デジタルテレビ放送への完全移行のお知らせ

地上デジタルテレビ放送は、2003年12月1日から関東、中京及び近畿の一部において開始され、2006年末までには、全ての都道府県庁所在地にて開始される予定です。現行の地上アナログテレビ放送は、地上デジタル放送への移行に伴い、2011年7月24日までに終了します。

地上デジタルテレビ放送を視聴するには、地上デジタル放送対応テレビに買い換える 地上デジタルチューナーを買い足す 地上デジタル放送対応済みのケーブルテレビで視聴する、各方法があります。詳しくは、下記へお問い合わせ願います。



問い合わせ先

- 受信相談 / 総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
☎0570-07-0101
- 視聴エリア / (社)地上デジタル放送推進協会 ホームページ <http://www.d-pa.org>

県産木材で快適な我が家を!

～青森のスギ木づかい住宅推進事業～

事業内容

認証スギ乾燥材の購入経費について、20万円を上限に助成します。

募集戸数は、県内で100戸(20万円/戸相当)です。

申し込み条件

県内に居住するために木造住宅を新築すること。

平成18年4月1日以降に着工した新築住宅で、平成19年3月20日までに認証県産材を設置終了すること。

新築住宅に使用する木材は、認証県産材を概ね70%以上使用し、かつ、認証スギ乾燥材を概ね30%以上使用すること。

県内に事務所を置く製材所、建築士及び大工・工務店によって建築と施工管理がなされること。

建築現場を見学会その他の展示PRの場として提供できること。

申込締切日 平成18年7月31日(月)

問合せ先 役場産業建設課 産業担当 ☎35-2001

土砂災害防止法に基づく

基礎調査実施のお知らせ

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」(通称：土砂災害防止法といいます。)が施工され、土砂災害防止のソフト対策推進(警戒避難体制の整備等)のため、現地調査が行われます。

当町では、対象となる土砂災害は、「急傾斜地の崩壊」「土石流」の2つの現象で、69箇所の危険箇所が確認されています。

この調査のため、調査員が皆様の土地に立ち入り、斜面等の状態を確認することがあります。調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願いいたします。

本調査に関する問い合わせ先

役場産業建設課 建設担当 ☎0174-35-2001
青森県土整備事務所 河川砂防管理課

☎017-728-0260(直通)

◆行政相談所開設のお知らせ◆

と き 平成18年 7月 8日 (土)
午前10時～午後3時
ところ 中央公民館

行政相談委員 **成田 りせ子**
☎35-3860

当日、用事などで来所できない方は、自宅でも相談を受けますので、お気軽にご連絡ください。

相談は無料です。秘密を守ります。

駐在所からののお知らせ

「振り込み詐欺」にご注意を!!

最近、また今別町に居住する方々に・総合消費料金未納分請求最終通達書・民事訴訟継続最終通告書等が書かれた架空請求の葉書が送付されてきていますので、十分注意を。

身に覚えのないものには絶対電話をかけないで下さい。
すぐに判断し振り込まないで、本人に確認しましょう。
一人で判断しないで、必ず誰かに相談をしましょう。

「水難事故」にご注意を!!

夏休みに向かって、暑い時期になると海や川で遊ぶことが多くなり、水難事故の危険性があります。

水泳は決められた場所以外では泳がない。
危険な岩場や潮の流れの速い場所は絶対に泳がない。
風の強い日や波の高い日は泳がない。

川や水路等で柵の無い危険な場所には近づかない。

みんなで注意して水難事故を無くしましょう。

連絡先 今別駐在所 35-2029
外ヶ浜警察署 22-2211

戸籍の窓口

(5月1日から31日の届出分)

お悔やみ申し上げます。

西條てい子 (49) 鍋田
澤田よしえ (94) 今別
山田 貞治 (77) 奥平部
平野 かつ (86) 今別

今別の姿 (平成18年 5月31日現在)

面積 125.27km²
人口 3,966人(-15)
男 1,873人(-5)
女 2,093人(-10)
世帯数 1,665 (-4)
()内は前月比

掲載を希望されていない方は、届出の時に住民保険課へ申し出下さい。
また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出下さい。

まちの行事予報 7/1～8/10

イ マ ダ ス

日 曜	行 事 予 定 場 所
3 月	総合健診 (大川平文化会館)
4 火	複合健診 (大泊文化会館)
8 土	今高祭：ねぶた運行 ～ 9日
18 火	基本健診 (袋月地区集会所)
21 金	今別小中学校終業式
30 日	荒馬っ子スクール ～ 8月1日
31 月	国民健康保険税第1期納期限 介護保険料第1期納期限
8 月	
4 金	荒馬まつり ～ 7日 (各町内)

遺族年金・障害年金から 介護保険料特別徴収(天引き)について

これまで遺族年金及び障害年金の受給者の皆さまには、個別に市町村の窓口で納付、銀行預金等から口座振替の手続きを行っていただき、介護保険料を納めていただいております。

介護保険制度を運営する市町村等から、毎月の手続きの負担軽減や納め忘れの防止のため、介護保険料を天引きする年金の種類を増やしてほしいとの要望が寄せられておりました。

こうした要望を受けて、平成18年10月から、遺族年金及び障害年金についても、介護保険料を天引きする年金とすることになりました。

年額18万円以上受給される見込み等の要件を満たす方が対象です。

これにより、市町村は介護保険料の未納付を防止できることとなり、一方、被保険者の方にも介護保険料を納める手続きが簡素化されることとなります。

なお、今までどおり、介護保険料の算定の際に遺族年金及び障害年金の受給額は、所得に含まれません。

問合せ 役場町民福祉課 介護担当
35-2001

青森県キャリア情報センター開設のお知らせ

県労政・能力開発課では、定年退職予定者や、就労先の倒産・閉鎖等で離職を余儀なくされた中高年齢の方を支援するため、「青森県キャリア情報センター」を開設いたしました。

センターでは、キャリア相談員が来訪者の適性や職業経験等に応じた個別相談を行うほか、再就職に関する情報を提供します。また希望者は、人材バンクへの登録をすることができます。

○開設場所

青森相談所：青森市新町2丁目8-26
県火災共済会館4階 (毎日開設)

○利用料

無料、但し、事前に予約が必要。

問合せ 青森県地域労使就職支援機構

017-721-1007

インターネット公売について

県では、差押財産をヤフー株式会社が運営するインターネットオークションを利用して入札又は競り売りの方法で売却する、インターネット公売を実施しています。

詳細につきましては、下記ホームページまでアクセスして下さい。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/zeimu/p13/info003.html>

問合せ 青森県税事務所 納税課

☎017-734-9975

「登下校中の子どもや遊んでいる子どもを、地域ぐるみで守りましょう。」



古田恵梨子さん（中沢）

頑張り 元気人

今別で暮らし始めて4年が経ちました。最初は、周りに誰も知り合いがいなくてとても孤独を感じ不登校でしたが、子育てサークルに参加してその不登校は一気に解消されました。子供にも同年代の友達と遊ぶことがすくなく良い刺激になり、親も子育ての不登校や悩ましい話を話したり、時にはワイドショー的な話題で盛り上がりがありますが、（ ）すること、日頃抱えている問題も、解決へ近付いたり出来ます。

私はまだまだ未熟なので、他のお母さん達から学ぶことが多く、子どもと一緒に私自身も成長させたいと思っています。

子どもと一緒に走って、動いて、汗を流し、我が子の成長を確信できたり、我が子の『魅力』を再発見できたりします。

これから、もっと人数が増えればもっと楽しくなるので、みなさんも気軽に顔を出してもらえたらいいなあと思います。

そして、今別が子どもたちの元気な声で、溢れる町になることを願っています。

げんきびと
町の元気人
28



木村稔幸さん

（中沢）の次女

莉子ちゃん

健康で、明るい元気な子に育ってほしい！
（母 真さんの願い）

町のたから
28

町では、元気人を探しています。自薦・他薦かまいませんので、広報担当までご連絡ください。

町に住所を有する3歳以下（平成14年4月2日誕生日以降）の子どもさんを掲載しています。

編集後記

わのこのこらんど

「梅雨」じめくと、カピルンルンが発生しやすい時期。

今年も、例年に比べて気温も低く、

まだ、毛布が必要なのはわだけ？

先月号では、「真夏にでも・・・」

というつもりでしたが、この前、大川

平岩木山の頂上から神様が「わのこのこ」

を続けなさいと、叫んでいた

ので、何か良いことがあるのではない

かと思いき、続けることにしました。

最近、様々な事件が多発しており、

物騒な世の中になってきたと他人事

のように思っていました。町でも連

れ去り未遂事件や不審火による火災な

ど、今別町では絶対起きないようなこ

とが起きています。

みなさんも、外出の際は戸締りに気

をつけて、子どもを地域へおまかせ

住みよい町を作りましょう。

私もカメラを持ち、町をブラっと歩

くこともありますが、決して不審者で

はありませんので、間違えないようお

願います。

6月は、スポーツ大会で子供たちの

活躍が目立ち、今後の更なる頑張り

期待したいと思っています。

最後に一言、今別高校として、最後

の文化祭が行なわれます。とても淋し

いことですが、ねぶた連行や文化祭に

みんなで参加し盛り上げてほしいと思っ

ています。

『は』

『平寛』より

今高祭2006『Last Carnival』

今別高校として最後の文化祭を、生徒ひとりひとりが、話し合い、考え、協力して創りあげたい。そして「今高祭」を成功させ、有終の美を飾りたい。

1 今別荒馬・ねぶた合同運行

- ①日 時 平成18年7月8日（土） 13時～ （小雨決行 大雨時中止）
- ②運行経路 今別高校 ～ 今別町商店街
- ③内 容 全校生徒119名による馬・手綱取り・笛・太鼓・はねと・山車ねぶたの合同運行

2 一般公開

- ②日 時 平成18年7月9日（日） 10時～
- ③場 所 青森県立今別高等学校
- ④内 容 全クラスによる巨大看板、模擬店（飲食物販売）、展示（書道展・写真展・お茶会・お菓子販売・募金活動・ゲーム等）、ステージ発表（バンド演奏など）